

報道関係各位

プレスリリース

2026年7月23日
株式会社 Liberaware

Liberaware と現場データの活用を支援する シリコンバレー発スタートアップ MODE が 業務提携に関する覚書を締結

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）と MODE, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、日本支店：東京都千代田区、CEO：上田 学、以下、「MODE」）は、画像・動画・3D データ・センサーデータ等を統合的に活用できるインフラ DX ソリューションの創出における共同検証、共同提案、共同開発等の協業に関する業務提携の覚書を締結しましたので、お知らせいたします。



**画像・動画・3D データ・
センサーデータ等を統合的に活用できる
インフラ DX ソリューションの創出**

■背景

社会インフラや大型施設では、設備の老朽化、人手不足、点検・巡回業務の負担増加を背景に、現場業務の安全性向上と省人化が重要な課題となっています。特に、施設内の巡回、点検、監視、データ取得といった業務では、人による目視確認や経験に依存する場面が多く、取得した情報が業務ごと、設備ごと、システムごとに分断されやすいという課題があります。

こうした課題に対応するためには、ロボットやドローンにより現場データを効率的に取得するだけでなく、取得した画像・動画・3D データ・センサーデータ等を統合し、管理、可視化、解析、報告業務までつなげる仕組みが必要です。これにより、現場単位の効率化にとどまらず、設備管理の高度化、組織横断での情報共有、長期的な保全計画への活用が可能になります。

当社は、屋内狭小空間における点検・計測に特化した小型ドローン「IBIS」シリーズの開発・製造・販売に加え、設備保全におけるデータの取得・可視化・解析・表示をシームレスに繋ぐ空間 iPaaS※である

「LAPIS」の展開を進めています。一方、MODE は、IoT データの収集・蓄積・活用を支援するプラットフォーム「BizStack」を展開し、現場データの可視化、分析、業務活用を支援しています。

このたび、当社の現場データ取得・活用技術と、MODE の IoT データ連携・可視化技術を組み合わせること
で、画像・動画・3D データ・センサーデータ等を統合的に活用できるインフラ DX ソリューションの創出が可
能となると考え、本提携に至りました。

※空間 iPaaS：「Integration Platform as a Service」の略称であり、デジタル空間（3D データ、点群データ、BIM など）におけ
るロボット・ドローン・カメラなどのデバイスや各種ソフトウェアを一元的に繋ぐためのクラウド型データ連携基盤を指す。

■本提携の概要

本提携では、当社の「IBIS」および「LAPIS」等による現場データ取得・活用技術と、MODE の
「BizStack」等による IoT データ連携・可視化技術を組み合わせ、以下の分野で連携してまいります。

1. 技術の共同活用および開発：ドローン、ロボット、IoT 機器等により取得される現場データの連携・活用方
法について、共同検証および技術的検討を進めます。
2. インフラ DX ソリューションの共同検討・開発：画像・動画・3D データ・センサーデータ等を統合し、現
場状況の可視化、遠隔監視、異常検知、AI 解析等につなげるソリューションを検討します。
3. 共同提案および営業活動：インフラ設備、産業施設、建設現場、自治体施設等に対して、ドローン、ロボッ
ト、IoT、AI を組み合わせた共同提案を検討します。また、展示会、実証事業、公募案件等においても連携
してまいります。
4. 新たなサービスモデルの創出：現場データを起点として、設備管理、遠隔監視、異常検知、報告業務等を支
援する新たな DX サービスモデルを検討します。

■今後の展望

今後、両社は、本提携に基づき、まずは施設・インフラ管理の現場における具体的な業務課題を整理し、
「LAPIS」と「BizStack」を組み合わせた現場データ活用モデルの有効性を検証してまいります。

そのうえで、実証実験や導入検証を通じて、取得データの活用方法、既存業務との連携方法、運用方法を具
体化し、設備点検・巡回・監視・保全業務における省人化、効率化、安全性向上に資するサービスモデルの確
立を目指してまいります。

また、インフラ設備、産業施設、建設現場、自治体施設等への共同提案を進めることで、社会実装に向けた
導入機会の創出を図ります。将来的には、現場データを起点とした新たな DX サービスとして、本格的な事業
化を目指してまいります。

なお、本覚書の締結が業績に与える影響は軽微であると判断しております。

■MODE について

MODE は、現場のリアルタイムデータのインテグレーションを支援する「BizStack」を開発・提供する、シ
リコンバレー発のスタートアップです。建設・製造・物流などの現場が抱える人手不足や業務の属人化といっ
た課題に対し、デジタル技術と現場理解に基づいたアプローチで、多くの企業の DX を支援しています。

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗く
て、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集し
た画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビ
ジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けしま
す。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代表者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
- ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
- ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業

URL：<https://liberaware.co.jp/>

Xアカウント：<https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL：090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com